



加藤なを子活動レポート



県政へのかけ橋

発行：日本共産党・加藤なを子事務所

＜連絡先＞藤沢市藤沢2-3-2

TEL0466-25-4776 fax 25-4761

国葬ストップ！！

安倍元首相の「国葬」の強行に反対する世論が強まっています。藤沢駅でも辻堂駅でも「国葬」中止署名に取り組みました。

「国葬」には法的根拠がありません。法律にないことを閣議決定し、強行しようとしています。しかも2つの点で憲法違反です。

1つは弔意の強制です。岸田首相は、「国葬」は「故人に対する敬意と弔意を国全体としてあらわす儀式」と述べましたが、そもそもこれは法律にはありません。憲法19条の「思想及び良心の自由」に反することです。もう1つは特定の個人である安倍氏のみを時の内閣により、特別扱いすることです。憲法14条の「法の下の平等」に反します。

さらに当初2億5千万円の費用が、その後、警備費も含めて16億6千万円に膨れ上がりました。でも、このままの金額ですむのでしょうか。国葬を「桜を見る会」と同じ企業が入札（1億6500万円）し、企画や演出することになるという異常な事態です。



「国葬なんてとんでもない！」と怒りながら署名する方、「私たちは物価が上がって生活が大変なのにお金の使い方が間違っている。」と話し、署名する方もいました。署名に列をつくる場面もありました。国民の疑問や反対の声は聞かないまま、進めようとしています。

国葬を中止し、その予算こそ生活に苦しんでいる、困っている国民のために使わせましょう！

日本共産党は、議員と統一協会とのかかわりについても、国会議員団で追及チームを作り、徹底究明をつづけています。安倍氏の「国葬」は憲法違反であるだけでなく、安倍氏が統一協会と政治との関係を深め、被害を拡大させた行為を国が是認することになります。政治のゆがみを正すため、みなさんと力を合わせます。



★ 暮らし照らす いっしょに歩む ★



加藤なを子とかとうあやののつどい



あさか由香さんも
応援スピーチ

2023年春の県議会・市議会選挙に向けて、8月25日に加藤なを子とかとうあやののつどいを開いていただき、100人以上の方が参加して下さいました。皆さんから期待の声や要望が寄せられ、一緒に頑張る、必ず当選させよう！とあたたかい応援メッセージをいただきました。あさか由香さんも参加し、「共産党の女性議員誕生に皆さんの力を貸してほしい。一緒にがんばります。」と応援のスピーチがありました。あやのさんと交代する山内市議のスピーチがあり、私とあやのさんも、当選に向けて全力で頑張る決意を話しました。

「暮らし照らす いっしょに歩む」このキャッチフレーズに表した、暮らしの声を議会で発言し、皆さんと一緒に実現に向けて行動するという思いをこめて、頑張ります。



新聞に折り込まれたチラシです。

マイナンバーをつくと最大2万円のポイントが増やされる！

健康保健証をマイナンバーカードに。さらに公金口座も？

「マイナンバーカードの案内がきたけどつくったほうがいいですか？」と問いかけがありました。紛失したり、ひとたび事故が起きたときの個人情報の流出は？さらに民間企業などに情報が共有化されないか、公務の民営化がおきないか。不安なことがいっぱいです。

国は情報システムの標準化・共通化として対象20の業務の標準仕様を定めています。対象は児童手当・住民基本台帳・戸籍・印鑑登録・選挙人名簿・固定資産税・障害福祉・介護保険・国民年金・国保などです。大事なことがほとんど含まれています。国のシステムに連動するよう自治体に求め、自治体が標準化に間に合わなければ、支給の遅れや受けとりができなくなることはないのでしょうか？

さまざまな住民の困難に寄り添い、心の通う対応ができる窓口を充実させることこそ求められています。国や自治体業務の効率化やデジタル化ではなく、住民のための行政手続きの簡素化や利便性の向上、安心して相談できる利用できるしくみこそ求められています。

なを子の花だより

花オクラ

いただいた花オクラの花です。しぼんでしまう前に食べたほうが良いと。花びらにお醤油をつけて食べました。花びらのおさしみみたいです。食感はシャキッとしていますが、茎の部分はねばねばしています。天ぷらでも食べられます。ゆでる場合はお酢をいれて。

